

令和 6 年度 【大学教育推進会議】 e-Learning 推進部会

1. 令和 6 年度 e-Learning 構築科目(15 科目)並びに担当者

学科・専攻・専修	No	科目名	担当者(敬称略)	大学の新たな展開
生活科学	1	被服学概論	宮本教雄	コアカリキュラム
	2	服飾デザイン文化論	齋藤益美	衣料管理士
	3	家庭科教育法 I	藤木節子・野口雅子	中・高家庭科教員免許
住居学	4	建築一般構造 I	大崎 (黒見)	沖縄女子短期大学からの編入対応 (建築施工管理技士学科試験対応)
	5	建築一般構造 II	大崎 (黒見)	沖縄女子短期大学からの編入対応 (建築施工管理技士学科試験対応)
	6	建築計画専門演習 I	富士 (黒見)	沖縄女子短期大学からの編入対応 (建築施工管理技士学科試験対応)
	7	建築法規専門演習 I	森田	沖縄女子短期大学からの編入対応 (建築施工管理技士学科試験対応)
	8	CAD 演習 I	森田	沖縄女子短期大学からの編入対応 (建築施工管理技士学科試験対応)
	9	CAD 演習 III	森田	沖縄女子短期大学からの編入対応 (建築施工管理技士学科試験対応)
	10	測量学・実習	富士 (森田)	沖縄女子短期大学からの編入対応 (建築施工管理技士学科試験対応)
	11	建築計画専門演習 II	富士 (黒見)	二級建築士学科対策
	12	建築法規専門演習 II	森田	二級建築士学科対策
	13	生活デザイン論	大崎	高等学校一種免許状 (家庭)
	14	構造力学基礎 II	黒見	構造力学入門科目
健康栄養	15	基礎栄養学	伊佐保香	国試対策・予復習 等
	16	生化学	野村裕也	国試対策・予復習 等
	17	調理学実習	大場君枝	国試対策・予復習 等
	18	化学	清水祐美	国試対策・予復習 等
	19	調理科学	笠井恵里	国試対策・予復習 等

	20	臨床栄養学	藤田 昌子	国試対策・予復習 等
書道教育	21	書道研究 I	住川英明	大学院（特に通信教育課程）の学習環境を整えたいため。
観光・英語	22	観光地理 II	瀬戸敦子	国家資格科目「旅行業務取扱管理者」
	23	観光関連法規	瀬戸敦子	国家資格科目「旅行業務取扱管理者」
	24	英米文学	山中マーガレット	教員免許状（英語）
	25	リーディングス	山中マーガレット	教員免許状（英語）
	26	英語学概論	河原俊昭	教員免許状(英語)
	27	在留外国人と言語	河原俊昭	学部共通科目（R6 年度～）
	28	文化財学	辻 公子	
デジタルアーカイブ	29	情報処理 II -情報と人権-	久世 均	教養科目
	30	デジタルアーカイブ入門	林 知代	資格科目（デジタルアーキビスト）
	31	情報処理	林 知代	免許科目（高校一種・情報）
	32	情報の管理と流通	久世 均	コアカリキュラム、資格科目（デジタルアーキビスト）、免許科目（高校一種・情報）
	33	メディア論Ⅲ	井上 透	資格科目（デジタルアーキビスト）、資格科目（上級情報処理士）、免許科目（高校一種・情報）
	34	文化情報メディアⅡ（メタバース）	櫛 彩見	コアカリキュラム、資格科目（デジタルアーキビスト、上級情報処理士）、免許科目（高校一種・情報）
	35	文化情報メディアⅢ	櫛 彩見	コアカリキュラム、資格科目（デジタルアーキビスト）、免許科目（高校一種・情報）
	36	博物館情報・メディア論	谷 里佐	資格科目（学芸員、デジタルアーキビスト）
	37	図書館サービス概論	木幡智子	資格科目（図書館司書）
	38	図書館情報資源概論	木幡智子	資格科目（図書館司書、学校司書、デジタルアーキビスト）

	39	学校経営と学校図書館	木幡智子	資格科目（学校図書館司書教諭）
	40	読書と豊かな人間性	木幡智子	資格科目（学校図書館司書教諭）
	41	教材リサーチⅠ	久世 均	資格科目（デジタルアーキビスト）
	42	教材リサーチⅡ	久世 均	資格科目（デジタルアーキビスト）
	43	情報科教育法Ⅰ	久世 均	免許科目（高校一種・情報）
初等教育学	44	遊びと文化Ⅰ	眞喜志悦子	「幼児教育コーディネータ養成講座」 幼稚園教諭1種免許状上進のための本学の履修証明プログラム
	45	遊びと文化Ⅱ	眞喜志悦子	
	46	保育内容（表現）	土井のぞみ	
	47	教師論	齋藤陽子	
	48	教育の方法・技術	久世均・齋藤陽子	
	49	幼児理解	大井修三	
	50	教育相談Ⅰ	佐々木恵理	
	51	生徒指導論	吉野光浩	「小中連携教育コーディネータ養成講座」 小学校教諭2種免許状取得のための本学の履修証明プログラム
	52	教育相談Ⅱ	佐々木恵理	
	53	初等教科教育法（理科）	横山隆光	
	54	初等教科教育法（音楽）	田中陽治	
	55	初等教科教育法（外国語（英語））	中村典生	
	56	初等教科教育法（国語）	森洋子	
	57	初等教科教育法（生活）	眞喜志悦子	
	58	初等教科教育法（算数）	坂下正明	
	59	教育方法論	村瀬康一郎	幼稚園・小学校教諭1種免許状
	60	家庭機器工学	横山隆光	学部共通科目
大学院	61	教育方法特講Ⅰ-Ⅳ	齋藤陽子	専修免許状（各科目対応）

	62	教育課程特講Ⅳ	齋藤陽子	「学校 DX 戦略コーディネータ養成講座」としての開講 ②学部生・社会人向けの教育プログラムの開発 専修免許状（各科目対応） 上進のための本学の履修証明プログラム ム
	63	教育原理特講Ⅳ	高橋正司	
	64	教育実践特講Ⅳ	齋藤陽子	
	65	教育情報特講Ⅳ	久世 均	
	66	教材開発特講Ⅳ	横山隆光	
	67	学校経営特講Ⅳ	横山隆光・高橋正司	
	68	教育法規研究Ⅳ	三尾寛次	

2. e-Learning 科目の科目学修到達目標並びに課題(5月31日〆切)

No	テーマ	学修到達目標	内容	課題
(例)	インストラクショナルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・インストラクショナルデザインとは何か説明できる。 ・ADDIE モデルについて事例をあげて説明できる。 ・カークパトリックの4段階評価モデルについて事例をあげて説明できる。 	(1)インストラクショナルデザインとは (2)教材開発とインストラクショナルデザイン (3)授業設計のプロセス ・ADDIE モデル (4) カークパトリックの4段階評価モデル	(1) カークパトリックの4段階評価モデルについて、各段階における評価方法には何があるかグループで考察しなさい。 (2) 授業設計のプロセスにおけるADDIE モデルについて、各プロセスの内容を、具体的に授業を設計する場面を当てはめなさい。
第1講				
第2講				
第3講				
第4講				
第5講				
第6講				
第7講				
第8講				

3. タクソノミーテーブル作成(6月30日〆切)

タクソノミーテーブル (教育目標の分類体系：タクソノミー)

科目名

(2024 年 月 日作成)

氏名

No.1

(〇〇する 内容 力がある) 事実、概念、 手続き、メタ認知	想起する	理解する	応用する	分析する	評価する	創造する
	(再認、再生)	解釈、例示、分類、推論、比較、説明	実行、遂行	比較、組織結果と原因	チェック、判断	生み出す、計画できる、汎化

4. テキスト作成 (8月31日〆切)

別紙テキスト(様式)に従ってテキスト作成

- (1) 各講 6 ページ以上 (基本的に通信の場合には2単位 200 ページを基本にしている。)
- (2) 資料を QR コードで示す
- (3) 参考文献
- (4) 科目ガイドブック作成

第 1 講 インストラクショナルデザイン

亀井美穂子 (椋山女学園大・准教

授)

【学習到達目標】

- ・学力の定義と 21 世紀型スキルについて説明できる。
- ・求められる学力について説明できる。

1. 現代社会の特徴

ICT は、その能力の指数関数的な向上及び価格低下に伴い、世界全体に急速に浸透し、ICT 産業にとどまらず、他の産業や社会全体、企業のビジネスモデル、個人のライフスタイルなど様々な領域で大きな変化をもたらしている。スマートフォンへのシフト、コモディティ化、新興国市場の拡大は、従来の市場競争のあり方を根本から変えることで、個々の企業の競争力・業績に大きな影響を与え、環境変化に適応した企業が業績を拡大する一方、従来型の市場で大きなマーケットシェアを持っていた企業が業績の不振に苦しんでいる。加えて、スマートフォンや SNS 等の普及は人々のライフスタイルやワークスタイルに大きな変化をもたらし、人々の情報行動 1 を大きく変化させるとともに、新たな就業のスタイルを生み出し

平成 26 年度版情報通信白書



5. プレゼン資料並びに動画作成 (10月31日〆切)

別紙プレゼン(様式)に従ってプレゼン作成し、プレゼン資料を元に20分程度の説明動画

(1) 各講20分程度



6. e-Learning サイト作成 (12月31日〆切)

第1講 インストラクショナルデザイン

1. 概要
知識の伝達や技能の習得、行為の促進や変化の誘導、態度の形成や改変を目的とする。学習者は主体的に学ぶことになり、知識や技能の習得や態度の形成や改変を目的とする。学習者は主体的に学ぶことになり、知識や技能の習得や態度の形成や改変を目的とする。
2. 学習到達目標
① インストラクショナルデザインの重要性を理解する。
② ADDIEモデルについて理解を深めていく。
3. 研究課題
① インストラクショナルデザインが学習者の学習成果に与える影響を調査する。
- ② 個別化された学習環境としてのインストラクショナルデザインの実用性について調査する。
- ③ 効果



第2講 授業デザインの基本

1. 概要
授業の設計や実施に関する知識や技能の習得を目的とする。学習者は主体的に学ぶことになり、知識や技能の習得を目的とする。学習者は主体的に学ぶことになり、知識や技能の習得を目的とする。
2. 学習到達目標
① 授業デザインの重要性を理解する。
② 授業デザインが学習者の学習成果に与える影響を調査する。
3. 研究課題
① 授業の設計や実施に関する知識や技能の習得を調査する。
- ② 個別化された学習環境としての授業デザインの実用性について調査する。
- ③ 効果



7. e-Learning-サイトの確認並びに検証 (3月末〆切)